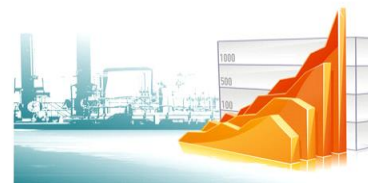


# ぎふ経済レポート



令和2年4月分  
岐阜県商工労働部

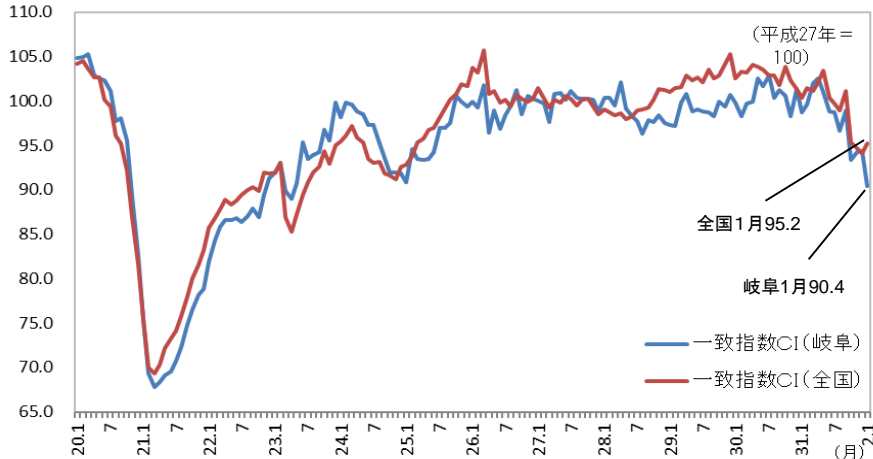
※企業等へのヒアリングは 4月24日～28日を中心に実施し、5月18日に作成。

# 景気動向

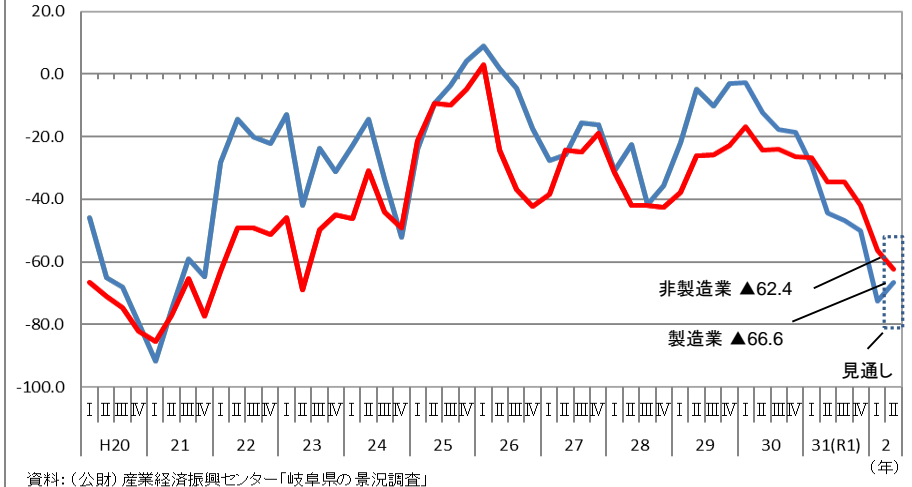
- 1月の景気動向指数(一致指数)は、90.4で前月比3.2ポイント低下した。
- 3月の県内中小企業の景況感は、▲71で前月比▲9ポイントと低下した。

- 4-6月期の景況DI見通しは、製造業で▲5.9ポイント上昇、非製造業で▲6.1ポイントと低下。
- 同売上高DIは、製造業で▲0.5ポイント、非製造業で▲5.1ポイントと低下。

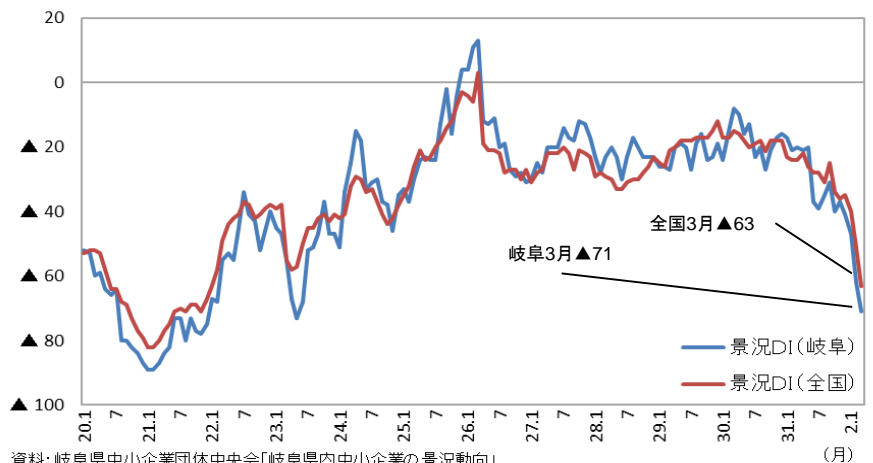
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



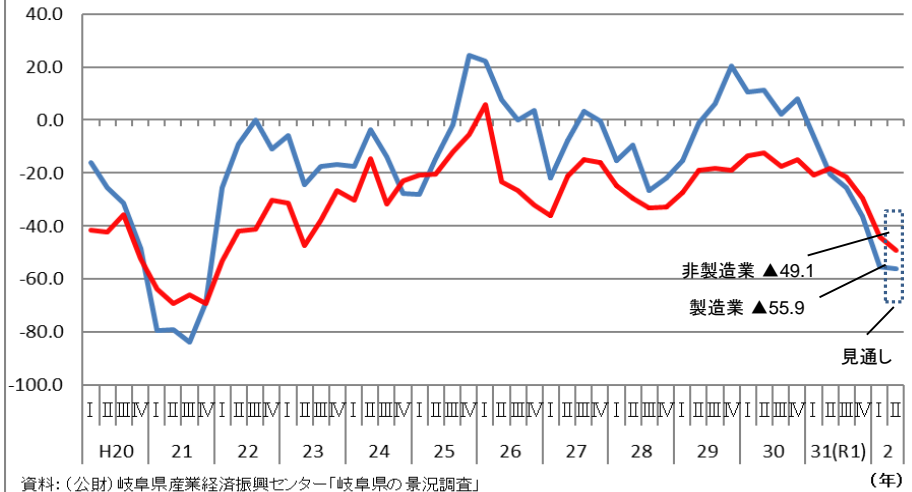
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

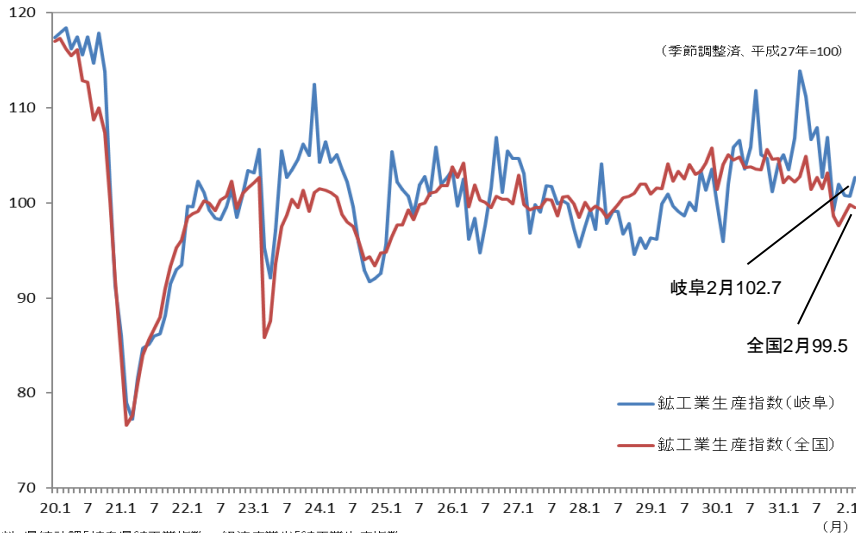


# 製造業

- 2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、102.7で前月比2.0%と上昇した。
- 前月比では、化学工業と非鉄金属を除き、多くの産業で上昇した。

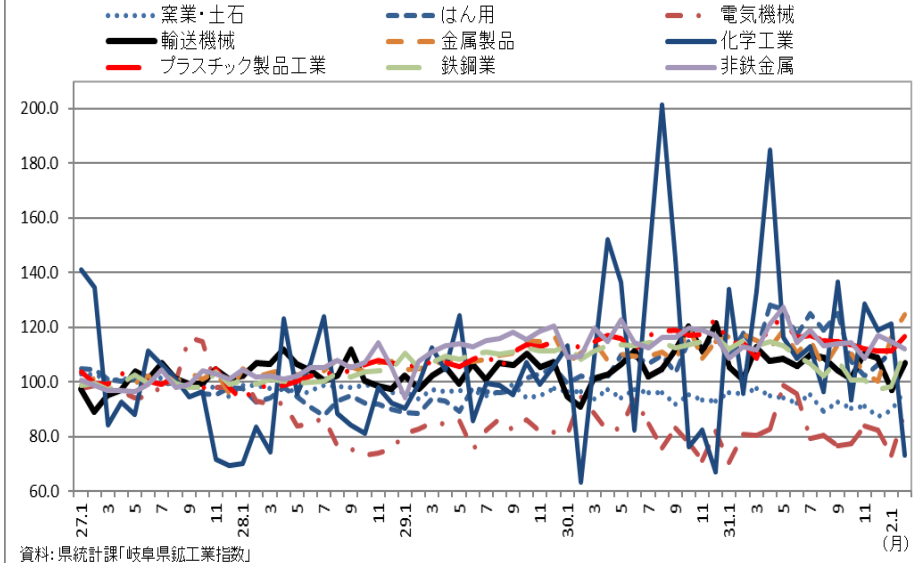
- 2月の主な産業の指数は、化学工業で前月比▲39.4%、非鉄金属で同▲2.2%と低下したが、電気機械で同21.6%、鉄鋼業で同13.1%など、その他の産業では増加となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)



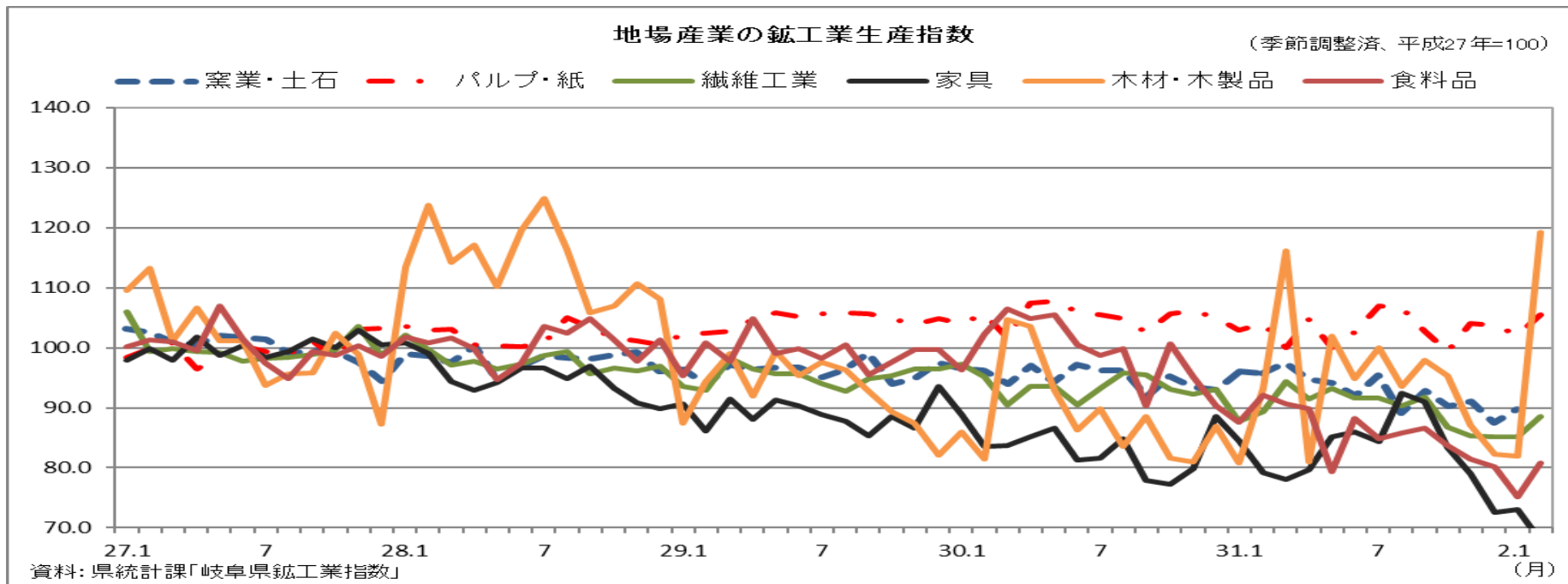
## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆新型コロナウイルスの影響により多少の減産はあるが、通常の勤務体制をとっている。(輸送用機械)
- ◆受注は大きく落ち込んでいる。4、5月は減収見込みであり、6月以降については見通しが立たない。(輸送用機械)
- ◆中国向けの建設機械部品は中国のインフラ整備の拡大により受注は好調。(輸送用機械)
- ◆国内では自動車関係が動いていないので、売上げが落ち込んでいる。(非鉄金属製造)
- ◆営業訪問を断られるなど商談が難しい状況。(はん用)
- ◆中国では全従業員が出勤しており生産調整は行っていないが、今後の影響が懸念される。(生産用機械)
- ◆外出自粛の影響でコンビニ向けの売上げが減少している。(プラスチック製品)

## 製造業-2

○2月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、家具で前月比▲7.0%と低下したものの、木材・木製品で同45.5%、窯業・土石で同8.0%、食料品で同7.6%、繊維工業で同3.9%、パルプ・紙で同3.3%と上昇した。



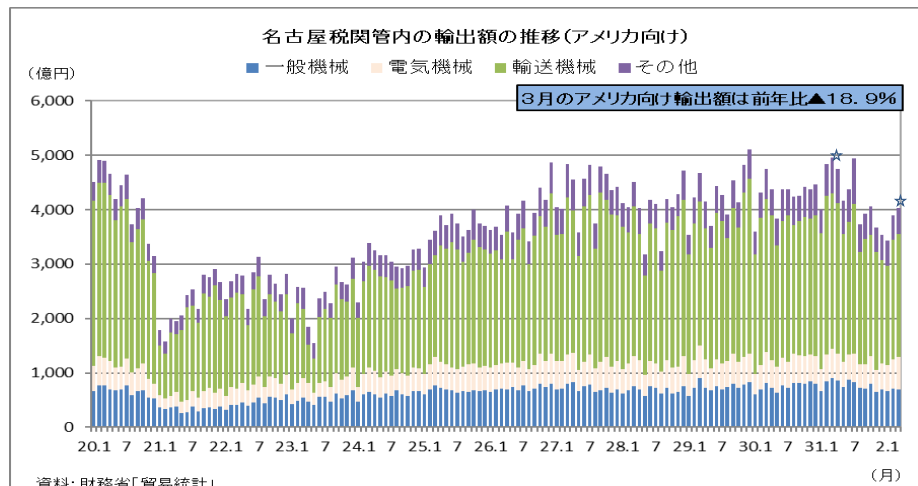
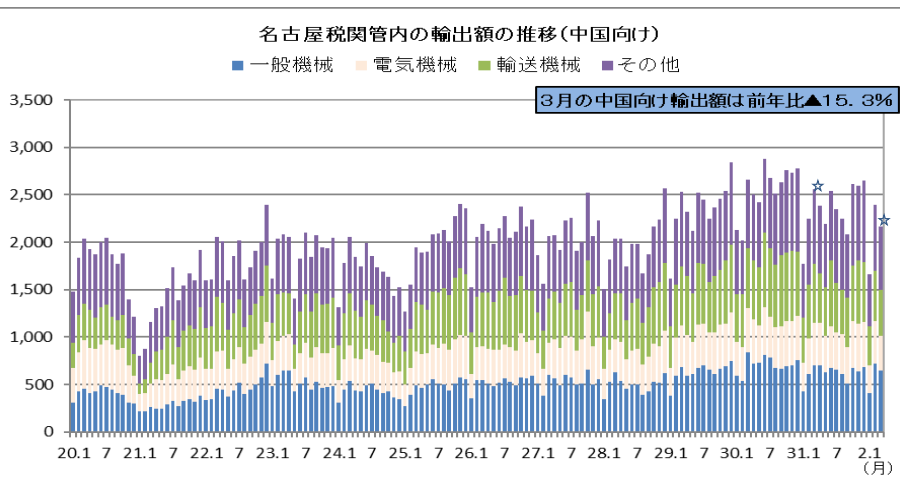
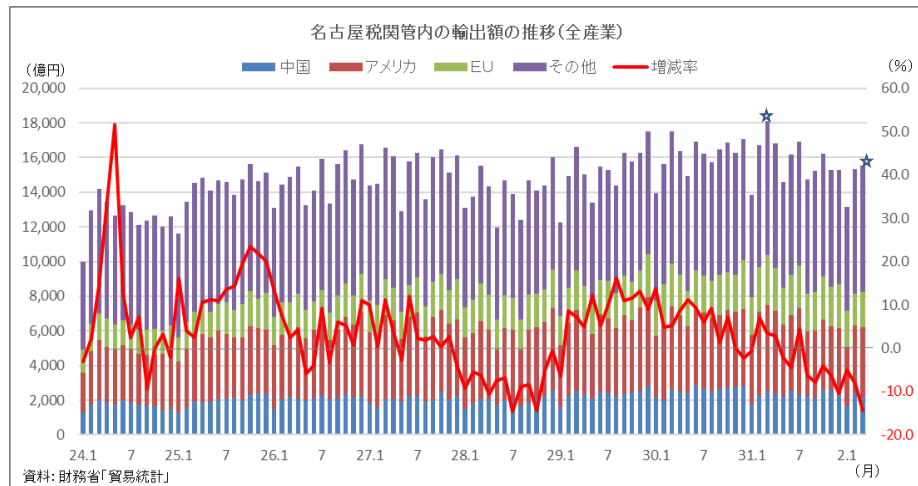
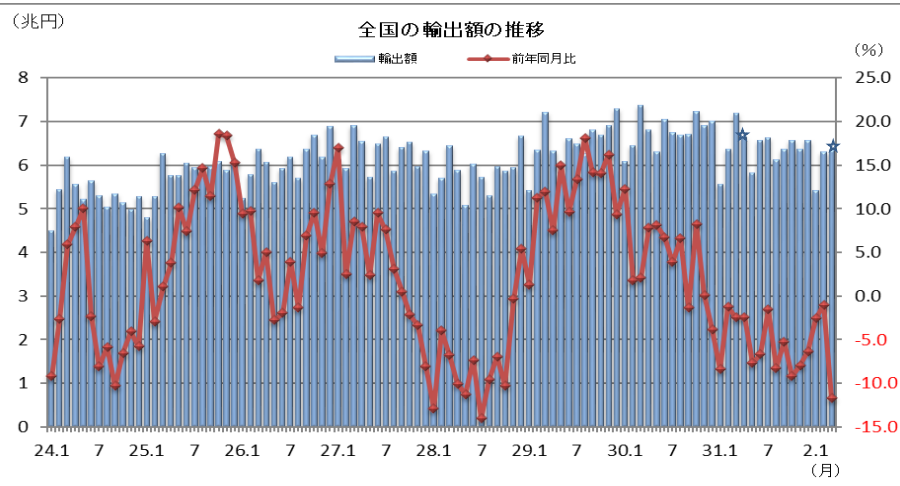
(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

### 現場の動き

- ◆2月までは前年同月と比べてよかったが、新型コロナウイルスの影響により3月以降は減収となる見込み。(木工)
- ◆イベントの延期や中止が相次いでおり、先行きが不透明である。(窯業)
- ◆業況は悪いながらも受注生産を維持。中国への輸出は少しずつ回復しているものの、アメリカへの輸出は動きが鈍い状況。(陶磁器)
- ◆大きな縫製工場では防護服を作り始めている。(繊維)
- ◆納品先である高山等の土産物屋が休業しており売上は大幅に減少するも、ネット販売は例年程度で推移。(紙)

# 輸 出(名古屋税関管内)

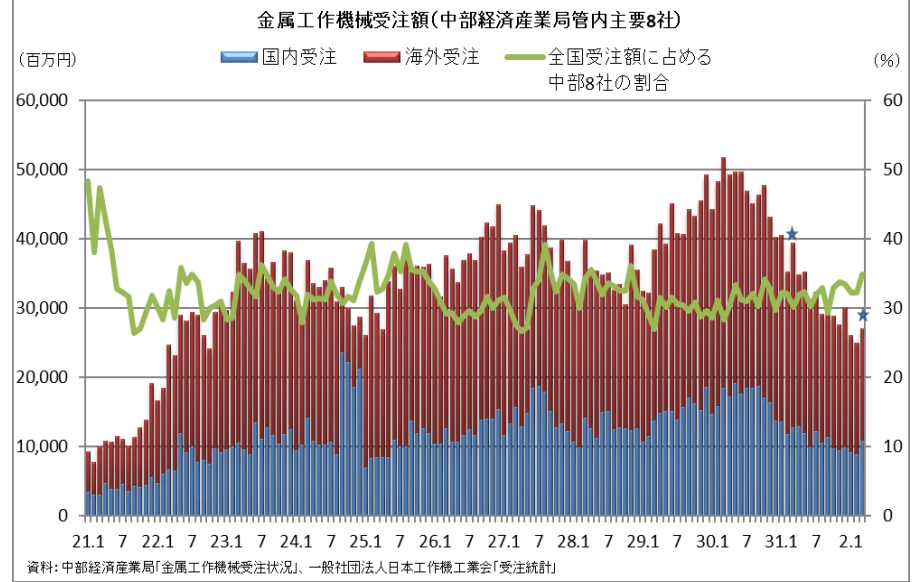
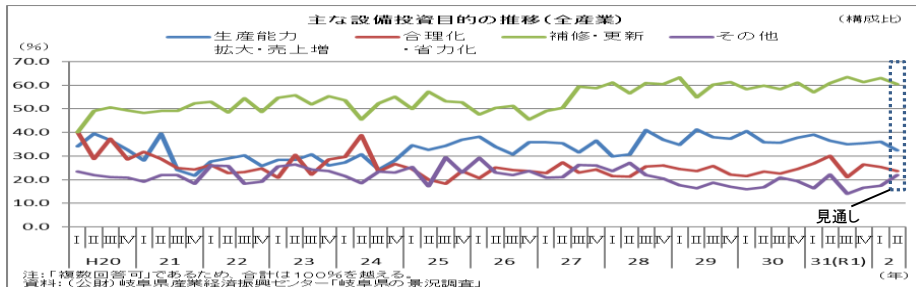
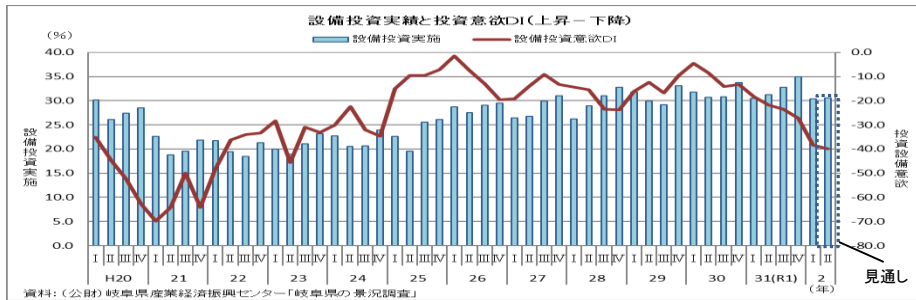
- 3月の輸出額(全国)は、6兆3580億円で前年同月比▲11.7%と16ヶ月連続で減少となった。
- 3月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆5,509億円で前年同月比▲14.3%と減少し、8ヶ月連続で前年同月を下回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比▲15.3%と減少し、前年を下回った。
- その内、輸送機械で前年同月比▲21.6%、電気機械で同▲18.9%と大幅に減少した。
- アメリカ向けは、全体で同▲18.9%と減少し、8ヶ月連続で前年を下回った。



# 設備投資

○4-6月期の設備投資実施見通しは前期比0.2ポイントと上昇、設備投資意欲DI見通しは同▲1.6ポイントと低下。目的別では、「生産能力拡大・売上増」で前期比▲3.6ポイント、「補修・更新」で同▲2.6ポイント、「合理化・省力化」は同▲1.8ポイントと低下した。

○3月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲31.5%と17ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注では同▲14.8%と16ヶ月連続で前年を下回り、海外向けも同▲39.5%と17ヶ月連続で前年を下回った。



## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆活発な受注状況への対応として新規設備への投資を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大による先行不安のため、投資内容の更なる精査をしながら進めていく。(輸送用機械)
- ◆先行きの見通しが立たない状況であり、設備投資計画を先送りする可能性がある。(生産用機械)
- ◆テレワーク環境の構築のため設備投資を行った。(プラスチック製品製造)
- ◆設備投資は延期の傾向にある。(金融)

## 製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

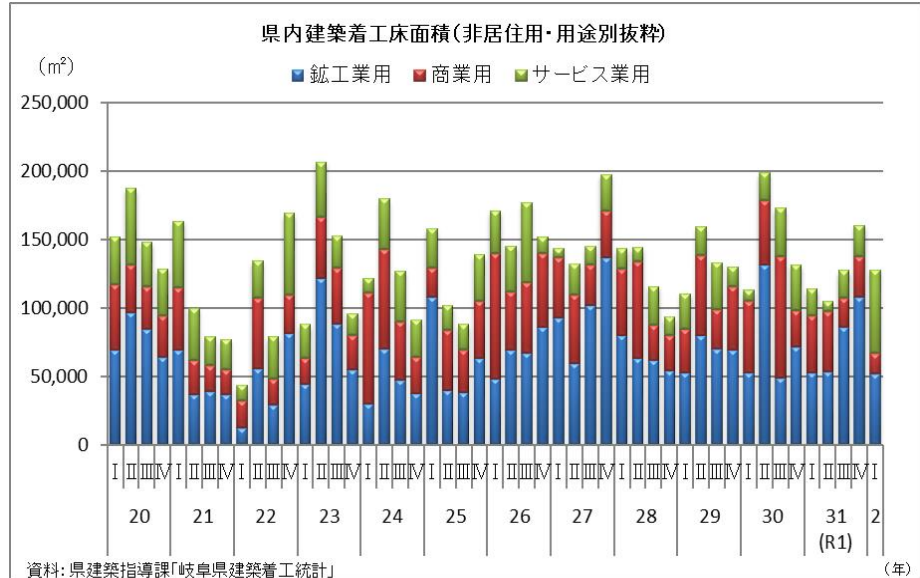
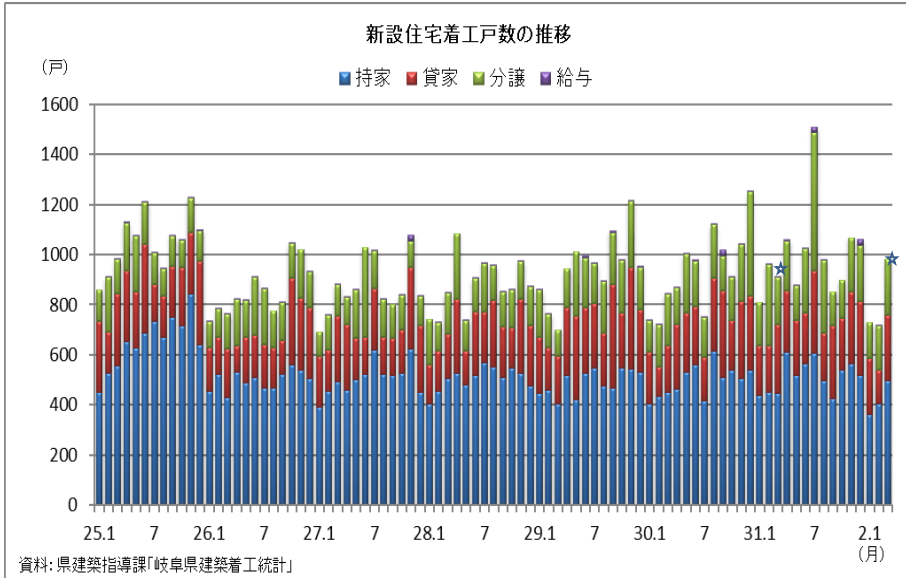
- ◆免疫関連素材の注文が伸びており、売上は全体的にやや増加しているが、5月以降の注文は減少傾向にある。今後徐々に原料調達面での影響も出そうである。(食料品製造業)
- ◆足元の受注は客先の在庫積み増しによるものであり、5月まではこの流れが続くと思われる。原料価格については、経済活動が停滞する中でこの先に大幅下落するとの予測もある。(輸送用機械)
- ◆日本、アメリカ、欧州などの自動車メーカーが軒並みライン停止や生産調整を実施。市場も冷え込み回復の兆しが見えない。中国市場のみ復活する兆しがある。(輸送用機械)
- ◆減産に伴い、GWは9連休の予定を10連休にしたほか、土日だけでなく金曜も休業とした。(輸送用機械)
- ◆海外からの受注はほとんどなく、引き合いがあったとしても、人の移動ができないため受注に至ることができない。(電気機械器具製造)
- ◆売上の下落幅は、国内メーカーに比べて海外メーカー向けのほうが大きい。(非鉄金属製造)
- ◆製造部門ではテレワークは困難であるが、間接部門ではテレワークの検討を開始する。(生産用機械器具)
- ◆韓国に出張ができず、下請け協力企業の管理ができない状況にある。(生産用機械器具)
- ◆生産稼働率は約70%となっており、体制を縮小している。(はん用機械器具製造)
- ◆中国の需要に加え、国内需要も落ち込んでいる。(はん用機械器具製造)
- ◆3月までは影響を受けていなかったが、4月から自動車関係向けの売上で前年同月比30%ダウンした。5月以降は更に減少する見通し。(プラスチック製造)
- ◆顧客との打ち合わせができない。また、顧客であるコンビニ自体の売上低下が、当社の売上に影響を与えている。(プラスチック製造)
- ◆前年同月比で売上は90%減少。大型商業施設では、1階の食料品売り場は開いているが、2階の衣料品売り場は閉まっているため、衣料品が売れない。(アパレル)
- ◆自動車業界で余剰となった派遣社員を繊維業界で雇ってもらえないか、という連絡が人材派遣会社からよく入るようになった。(アパレル)
- ◆リーマンショック時よりも影響が大きい。終息時期が分からず、見込みが立てられないことも要因の一つと考えられる。4月に入り、休業要請に応じる百貨店や小売店等の影響が大きく、事業活動が停滞している。(陶磁器)
- ◆交代制勤務で対応している。(陶磁器)
- ◆問屋からの小口注文は入るが、大口の海外との貿易については、ストップしており、困っている。(刃物)
- ◆売上は花見やGWなど、イベントでの消費(紙コップ、皿など)が見込めないため、かなり減っている。(紙)
- ◆昨年度に続き今年度も設備投資を実施したいが、先が見通せずどうなるかわからない。(木工)

# 住宅・建築投資

○3月の住宅着工戸数は、前年同月比8.0%と4か月ぶりに前年同月を上回った。

○分譲で前年同月比19.7%、持家で同11.5%と増加したものの、貸家で▲4.7%と減少した。

○1-3月期の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比208.0%と増加したものの、商業用で同▲65.0%、鉱工業用で同▲0.9%と減少したことから全体としては同▲3.8%と減少した。



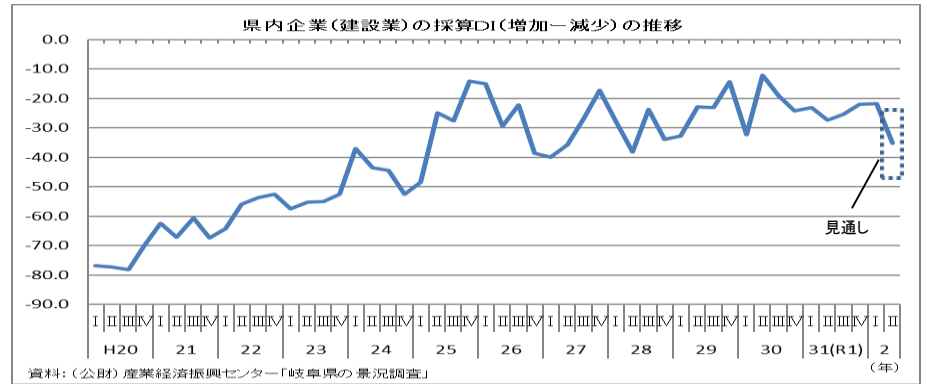
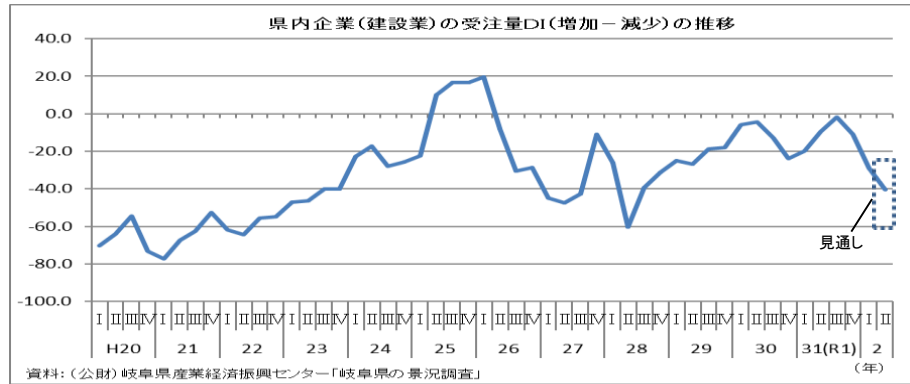
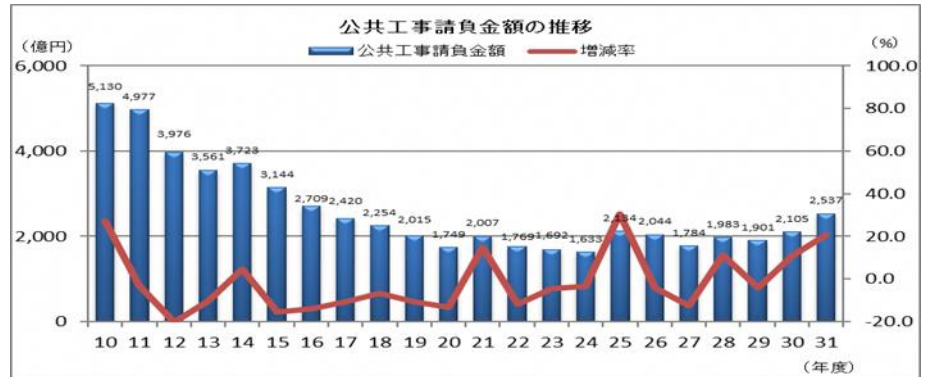
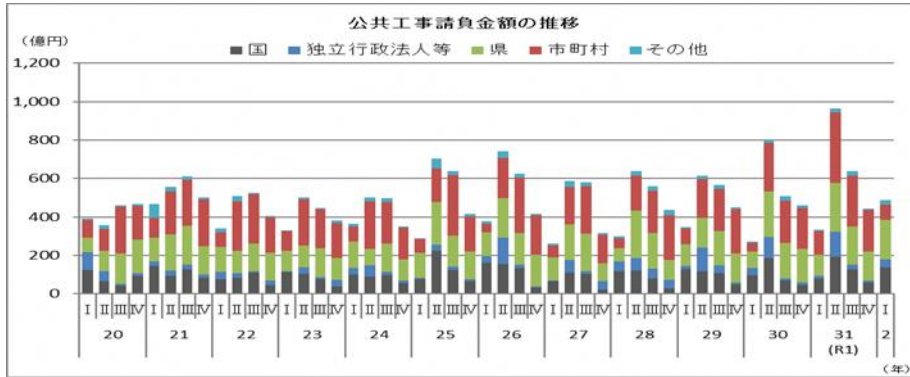
## 現場の動き

- ◆中国の工場が再開しつつあり、住宅建設関連製品の調達状況が少し改善してきている。(木材加工)
- ◆取引先の工務店も在宅勤務等で営業活動ができない状態。6月以降の受注が懸念される。大手ハウスメーカーは6月から7月頃にかけてひどくなるとの危機感がある。(木材加工)
- ◆新型コロナウイルス感染拡大前の契約があるので、材価への影響はまだそれほど出ていないが、夏以降、急落する恐れがある。(木材加工)
- ◆冬季に雪が少なかったこともあり、3月までは原木が多く出材されたため、在庫を増やして対応した。(流通組合)



# 公共工事

- 1-3月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同月比211.4%、県で同87.0%、国で同71.9%増加するなど、全体で同46.2%増加した。
- 県内建設業の4-6月期の受注量DI見通しは前期比▲11.6ポイントと低下、同採算DI見通しは同▲13.5ポイントと低下。



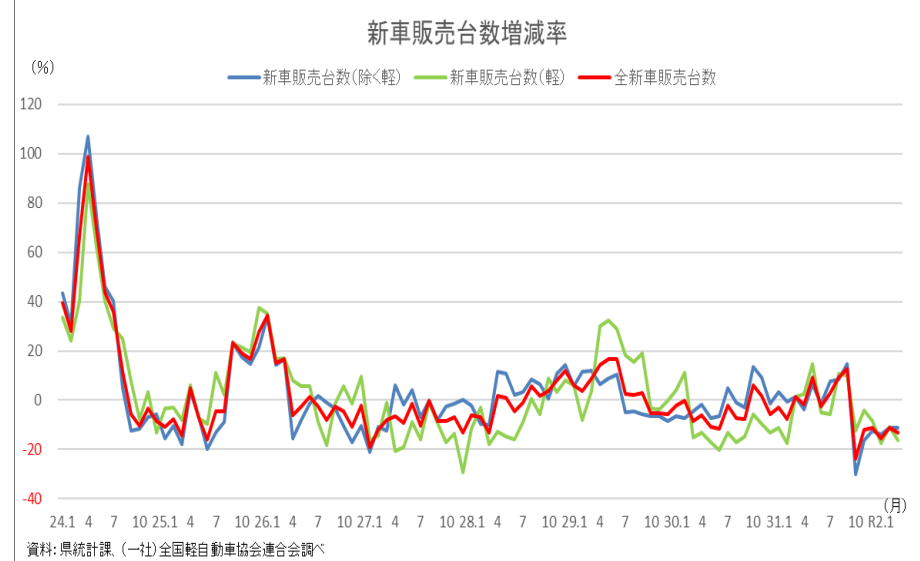
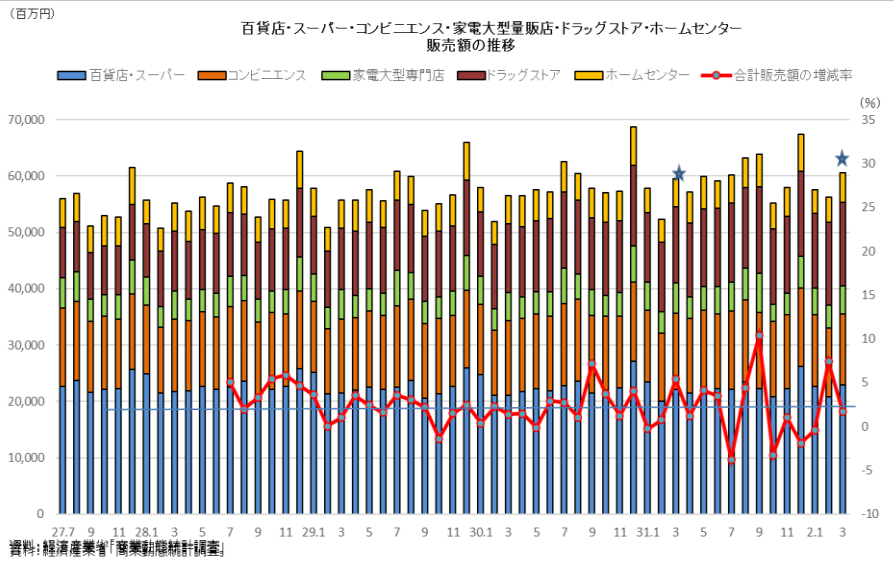
## 現場の動き

- ◆年度跨ぎの仕事を粛々と進めてる。今後の入札については未知数。
- ◆新型コロナウイルスの感染予防に注意を払っており、工事の中止や遅延が起きないように努めている。
- ◆ほぼ国内から資材を調達しており、不足感や価格高騰は感じていない。
- ◆慢性的な人手不足が継続。中長期的観点から新規雇用には慎重にならざるを得ない。
- ◆新型コロナウイルスの動向、影響を非常に心配している。(以上、建設業者)

# 個人消費(流通・小売)

○3月は家電大型専門店が前年同月比▲8.3%、コンビニで同▲6.7%減少したものの、ドラッグストアで同9.5%、ホームセンターで同6.2%、百貨店・スーパーで同3.5%増加し、全体では同1.7%と2か月連続で増加した。

○3月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲11.2%と6か月連続で減少し、軽自動車も同▲16.3%と6ヶ月連続で減少した。  
○合算では同▲13.0%と、6ヶ月連続で前年同月を下回った。



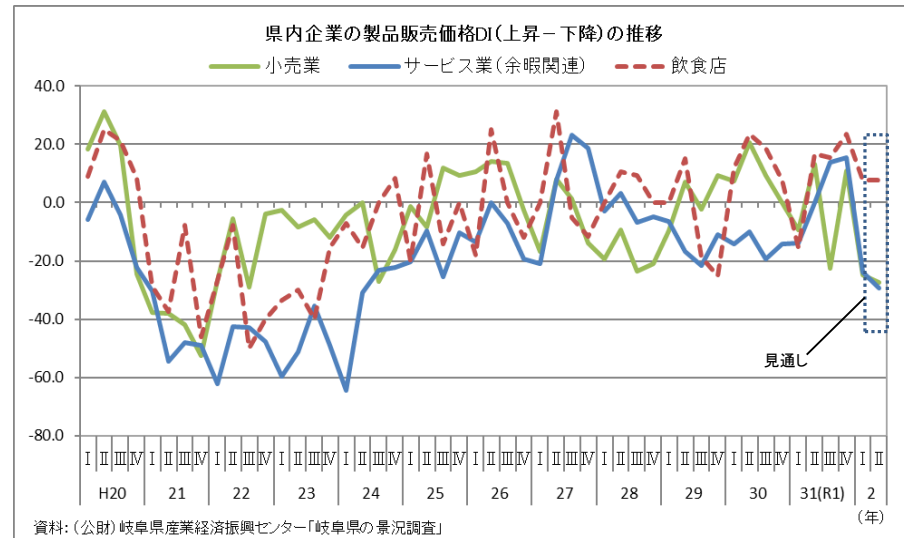
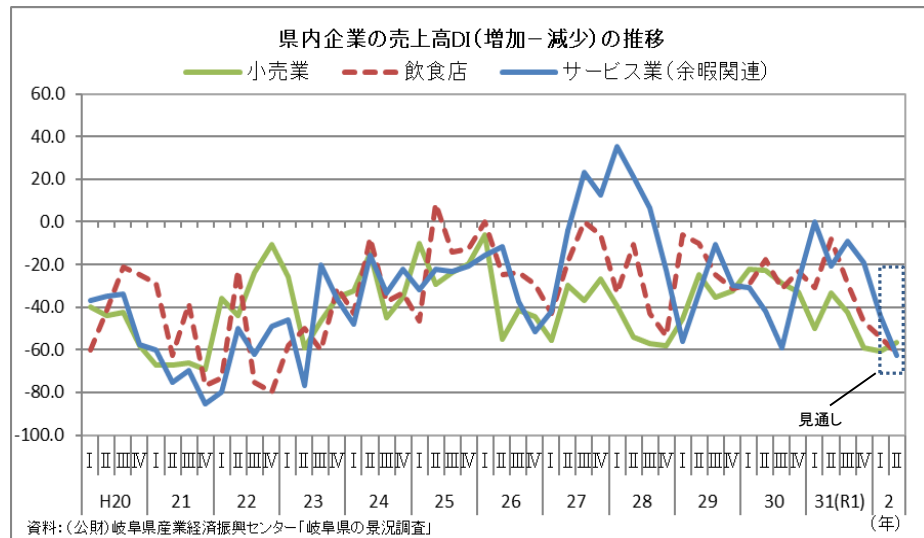
## 現場の動き

- ◆客単価が大きく伸びており、売上は増加している。(岐阜市内スーパー)
- ◆食品は前年を少し下回る程度だが、衣料品店のウェイトが高い店舗で新型コロナウイルスの影響が大きく、全体としては厳しい状況にある。(大垣市内大型商業施設)
- ◆イベント等はすべて中止し、チラシやCMも減らして集客自体を控えている。(岐阜市内大型商業施設)
- ◆新型コロナウイルスの影響によるスポーツ大会や学校行事等の中止により、客数が大幅に減っている。室内トレーニング器具のような好調なカテゴリーもあるが、全体としては厳しい。(岐阜市内スポーツ用品店)

## 個人消費(流通・小売)－2

○4－6月期の売上高DI見通しは、小売業で前期比4.1ポイント上昇したものの、サービス(余暇関連)では同▲18.5ポイント、飲食店で同▲7.7ポイントと低下した。

○同じく販売価格DI見通しは、飲食店で前期比同水準となり、サービス業(余暇関連)で同▲5.2ポイント、小売業で同▲2.7ポイントと低下した。



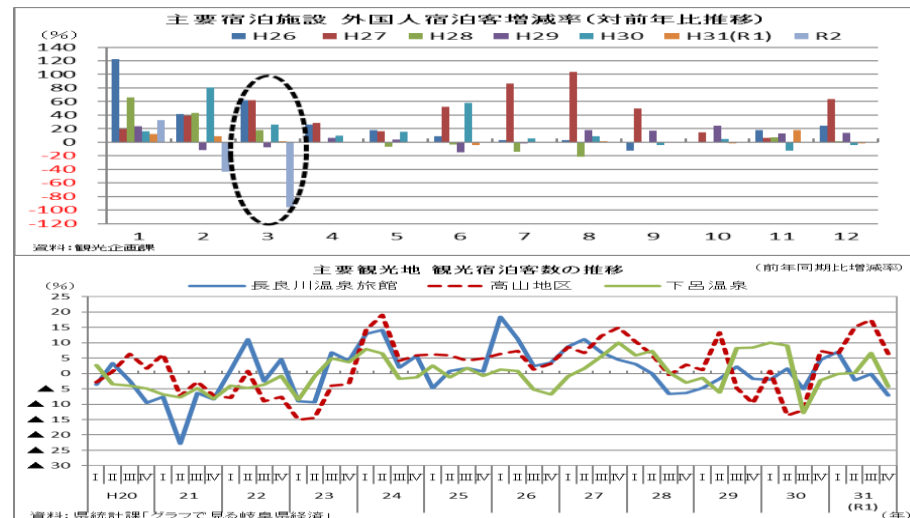
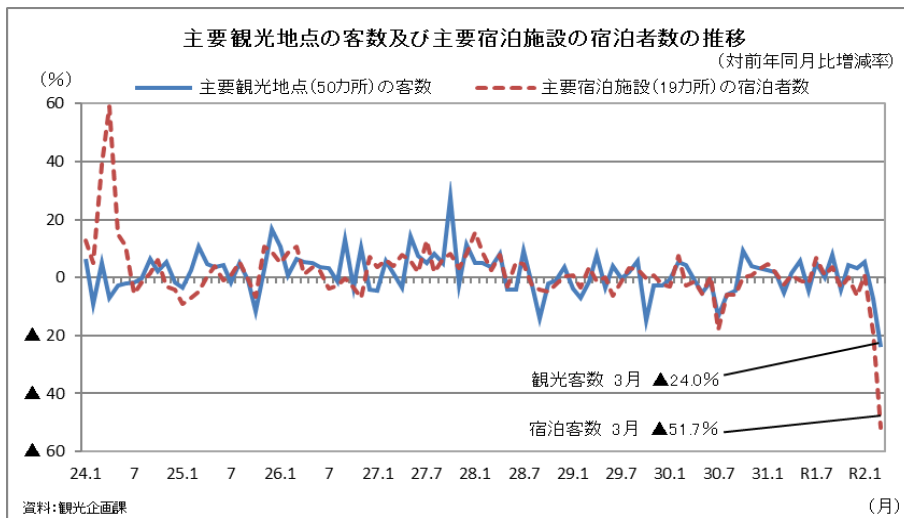
### 現場の動き

- ◆売上状況は、和菓子店で前年同月比▲50%、飲食店で同▲100%、ブティックで同▲80%。休業要請により飲食業等が休業となり、来街者は90%以上減少。人を呼ぶ企画ができず、感染終息後に向けて清掃や店主の健康管理に努めている。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆日用品・雑貨店の売上は前年同月比▲80%。品切れ中のマスク、手指消毒関連の問い合わせばかりで他の商品の売上につながらない。和菓子店の売上は、同▲45%程度。近隣の自家需要で支えられている状況。(大垣市商店街)
- ◆家電量販店の売上は、前年同月比▲50%。展示会がすべて中止となり、今後の見通しが全く立たない状況。カメラ・プリント店の売上は、同▲60%。(高山市商店街)
- ◆酒類販売の売上は、前年同月比▲50%。4月に入り飲食店の休業等を受け売上が大幅にダウンした。時計宝石店の売上は、同▲50%。来店客のほとんどが修理目的であり、購入客はいない状況。(多治見市商店街)

# 観光

○主要観光地における3月の観光客数は、前年同月比▲24.0%の減少と2ヶ月連続で前年同月を下回った。主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同期比▲51.7%と大幅に減少し、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

○3月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比▲95.7%と大幅に減少し、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

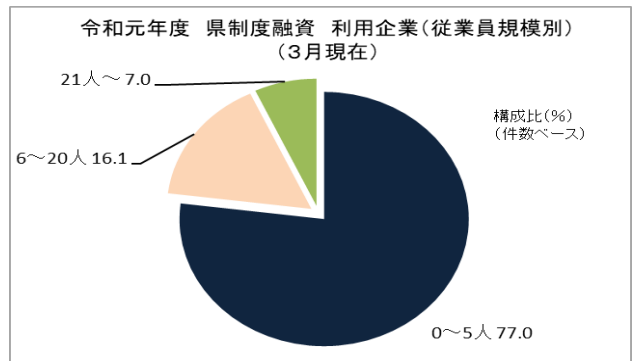
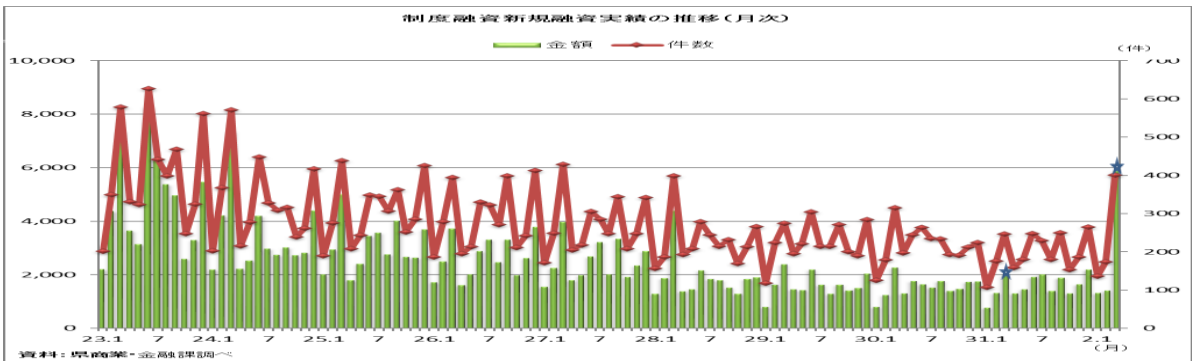
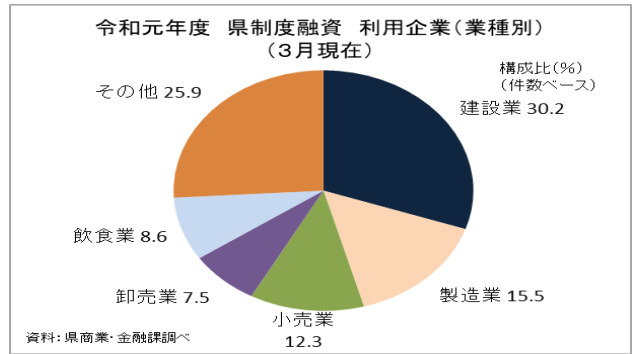
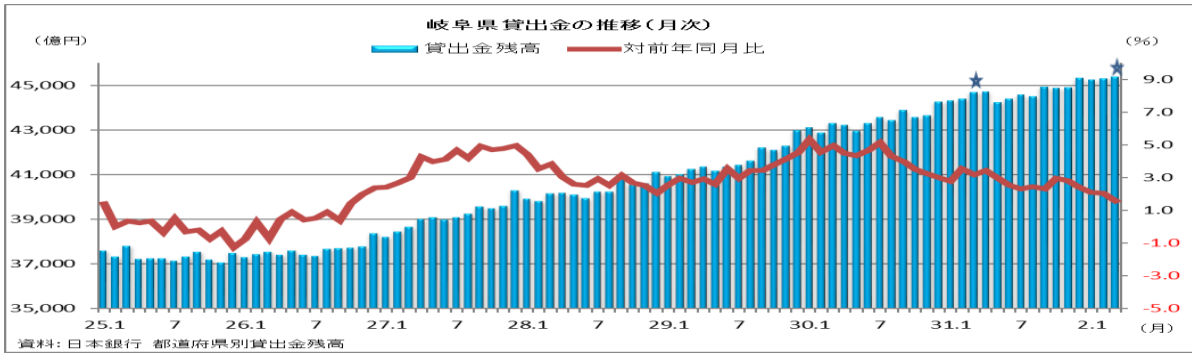


## 現場の動き

- ◆4～5月の入込は過去最低になりそう。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆予約がほとんどキャンセルになり、非常に厳しい状況。(恵那市内の宿泊施設)
- ◆4～5月はGWを除き、休館。6月も休館予定。(郡上市内の宿泊施設)
- ◆感染は長期化の様相で非常に厳しい。かつてない状態が先行きなく続く。(高山市内の宿泊施設)
- ◆GWも全く予約が入らず、4、5月は売上無しに等しい。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆先は見えず厳しい。半年以上この状況ならば、運営は厳しい。(奥飛騨の宿泊施設)

# 資金繰り

○3月の岐阜県貸出金残高は、4兆5,410円で前年同月比1.6%とプラス基調が続く。  
 ○3月の制度融資実績は、金額が5,897百万円で前年同月比194.2%と4ヶ月連続で増加した。件数は401件で同63.0%と2か月ぶりに増加した。  
 ○従業員規模別では、5人以下の事業所が全体の77.0%を占めている。

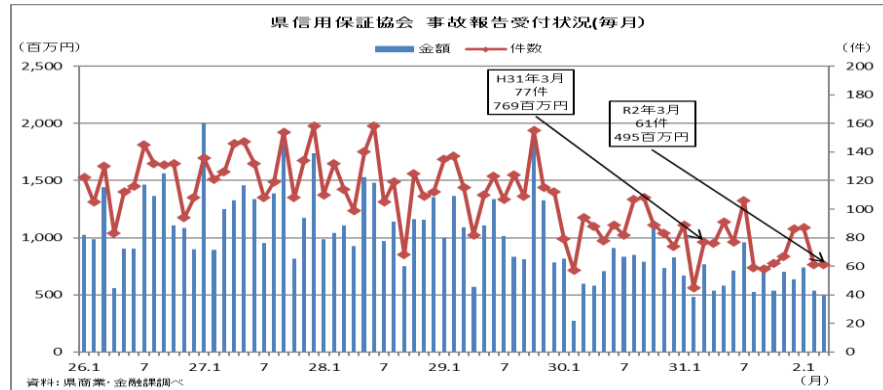
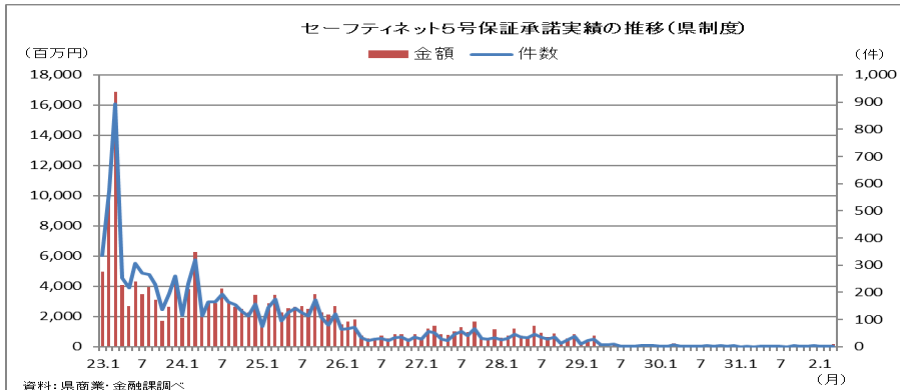
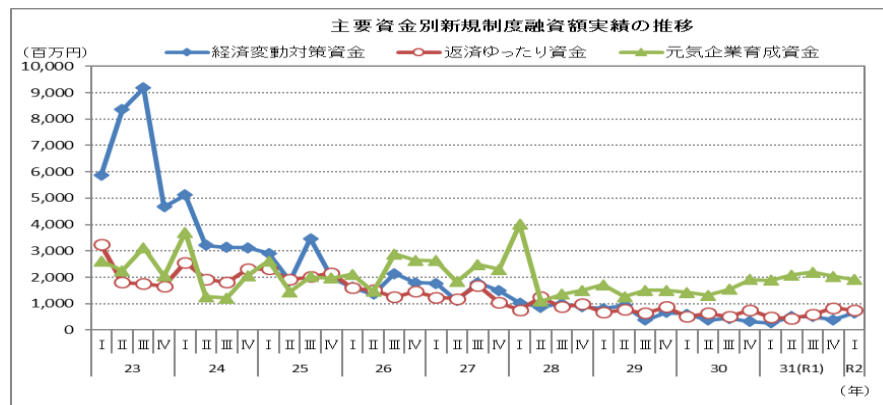
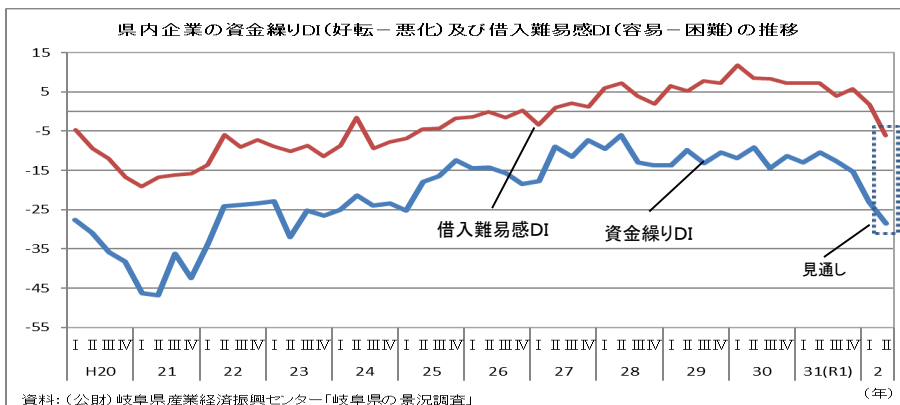


## 現場の動き

- ◆新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた融資の申し込みが増加している。
- ◆足元の業績に目立った落ち込みがない企業についても、手元の資金を手厚くするために予防的な借入をするケースが多くみられる。
- ◆当初は観光業の申し込みが多かったが、製造業の申し込みも多くなっており、様々な業種で影響が出ている。企業規模についても、中小企業だけでなく中堅・大企業にも対象範囲が広がってきている。
- ◆事業性資金だけでなく、収入が減少したことで、個人からの消費性資金の申し込みも増えている。(以上、金融)

# 資金繰りー2

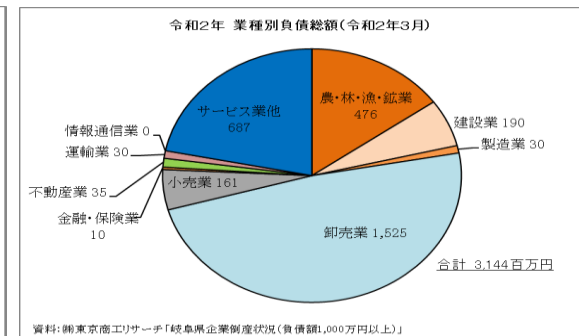
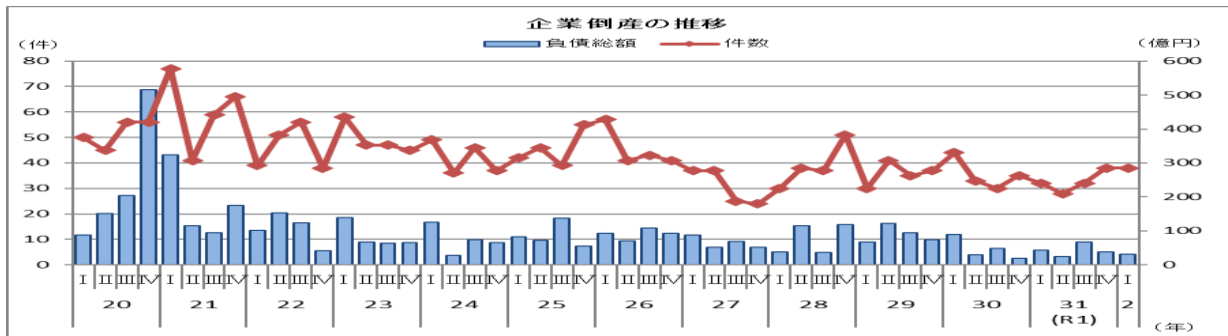
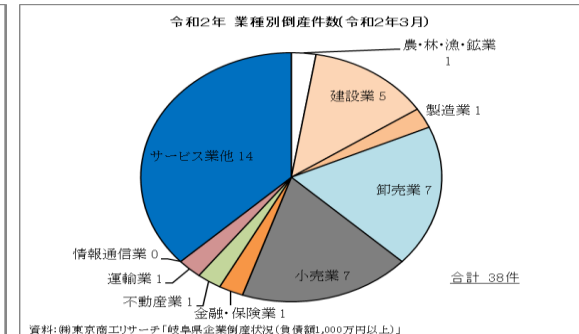
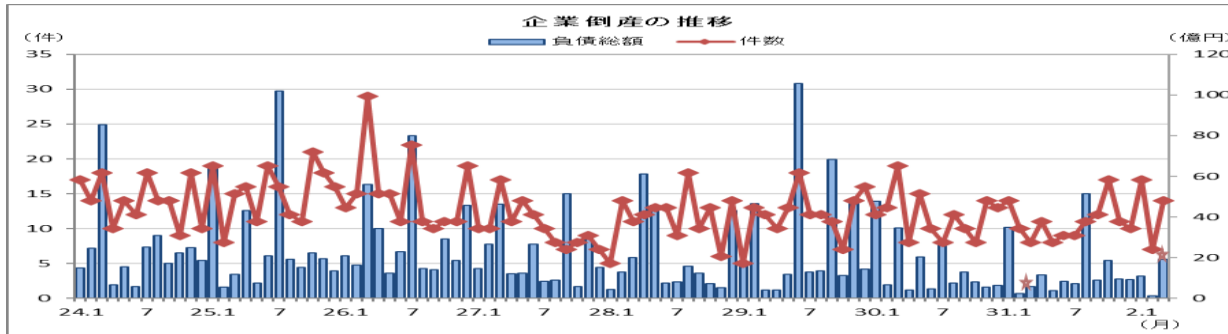
- 4-6月期の資金繰りDI見通しは▲28.5で、前期比▲5.5ポイントと低下。同借入難易感DI見通しは▲6.2で、同▲8.0ポイントと低下。
- 1-3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比144.6%と4期連続で増加、返済ゆったり資金で同57.7%と3期連続で増加、元気企業育成資金で同1.2%と8ヶ月連続で増加となった。
- 3月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が7件で前年同月比7件と増加、金額は176百万円と5ヶ月連続で増加した。
- 3月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は61件で前年同月比▲20.8%と減少し、金額は495百万円で同▲35.7%と3ヶ月ぶりに減少した。



# 倒産

○3月単月の倒産件数は前月比7件増加の14件、負債総額は前月比1,789百万円増加の1,920百万円となった。

○1月から3月までの累計倒産件数は38件となり、前年同期の32件から6件増加。累計負債総額は3,144百万円となり、前年同期の4,333百万円から1,189百万円減少で推移した。

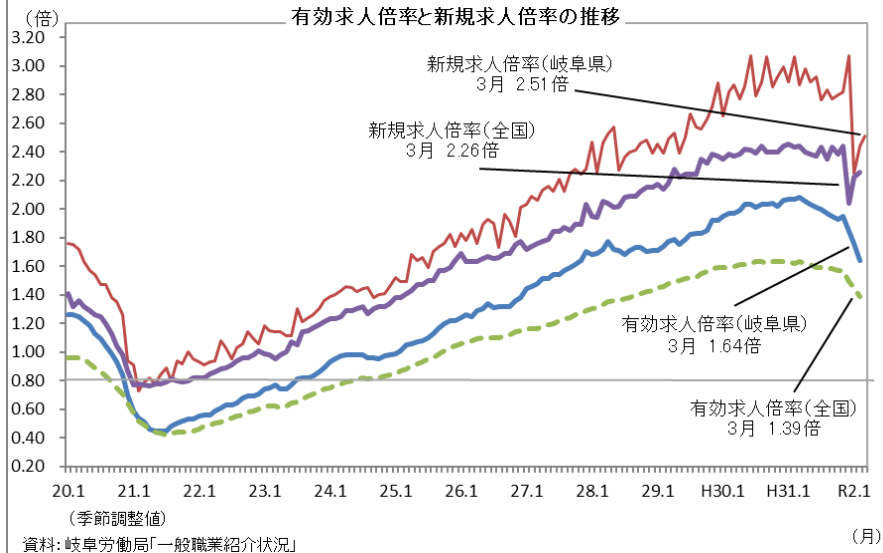


## 専門機関の分析(東京商工リサーチ)

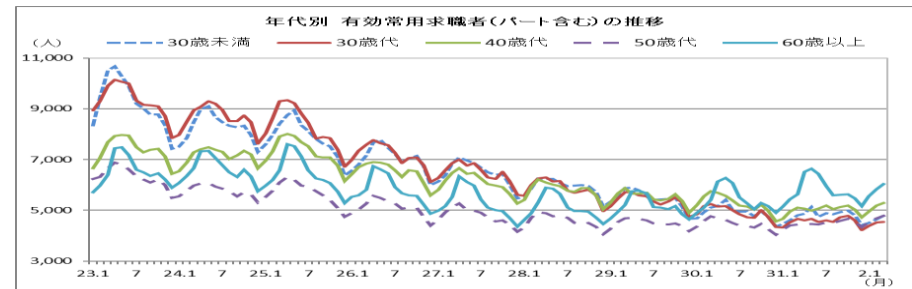
◆「新型コロナウイルス」感染が国内に拡大し終息する様子が窺えない状況にあり、学校の新学期開始を延長したほか、テレワークを導入する企業も増えている。主要自動車メーカーはサプライチェーンの影響を見て操業の一部停止を発表するなど、「新型コロナ」は市民生活だけでなく、企業活動にも深刻な影響を与えている。「新型コロナ」関連の経営破綻の発生は全国に広がっている。業種は宿泊業、飲食業、食品製造業、アパレル販売など、インバウンド需要と消費者対象の中小零細企業が多い。また、「新型コロナ」の影響で業績の悪化が一段と進み、先行きの見通しが立たず廃業を決断するケースなども増えている。

# 雇用

- 3月の有効求人倍率は1.64倍と前月比▲0.12ポイントと低下。「1.6倍」台は43か月ぶりの水準。
- 3月の新規求人倍率は2.51倍と前月比0.07ポイントと上昇した。



- 3月の雇用保険受給者人員は、前月比▲3.6%と低下した。
- 年代別有効常用求職者は、30代以下の年代で前年同月比減少した。



## 現場の動き

- ◆受注減のため人手は十分にあり、いったん求人进行を停止している。(輸送用機械)
- ◆在宅勤務等が増え人手不足が生じている。(輸送用機械)
- ◆7月に予定していた外国人技能実習生の受入を延期した。(輸送用機械)
- ◆計画通りに採用実施。中小企業にとって、今は優秀な人材を確保できる時と考えている。(電気機械器具)
- ◆景気の悪化に伴い、人員の余剰感がかなり高まっており、採用は抑制する方向。(生産用機械)
- ◆雇用調整助成金を申請している。(プラスチック製品製造)
- ◆雇用継続のため雇用調整助成金を活用するなどして対応している状況、と聞く。(金融)

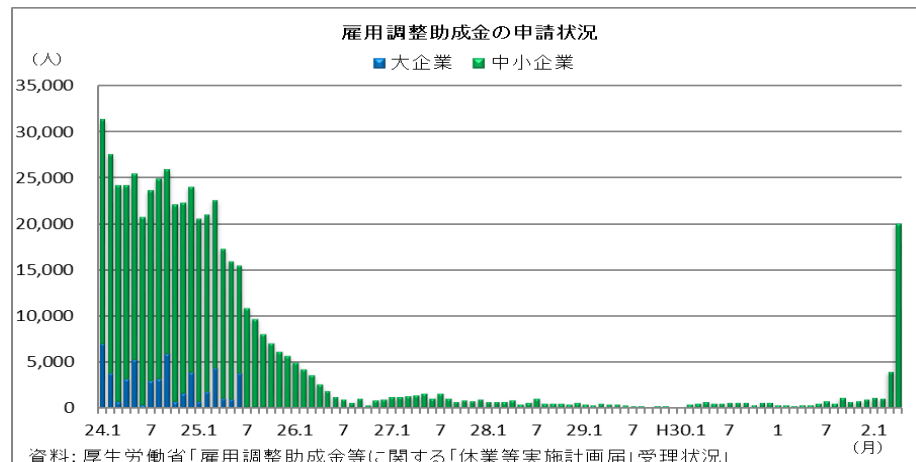
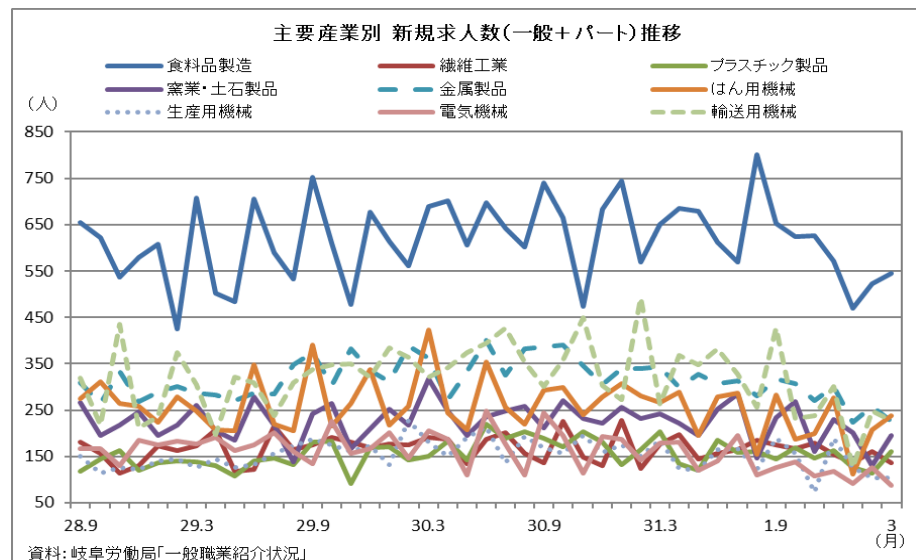
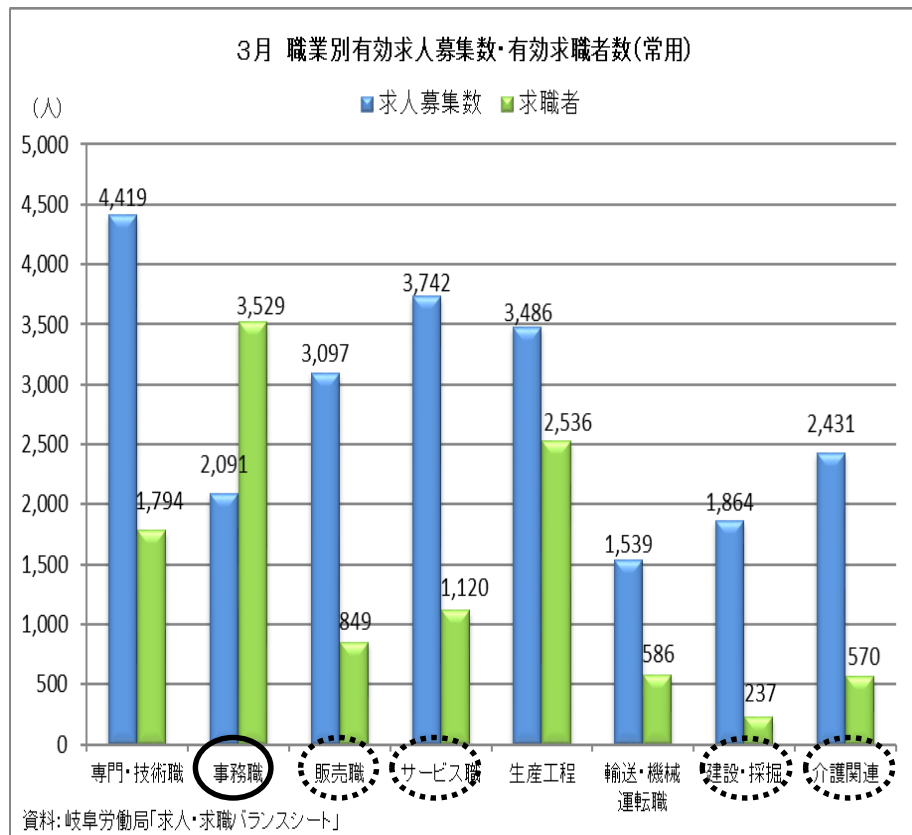


# 雇 用(職業別)

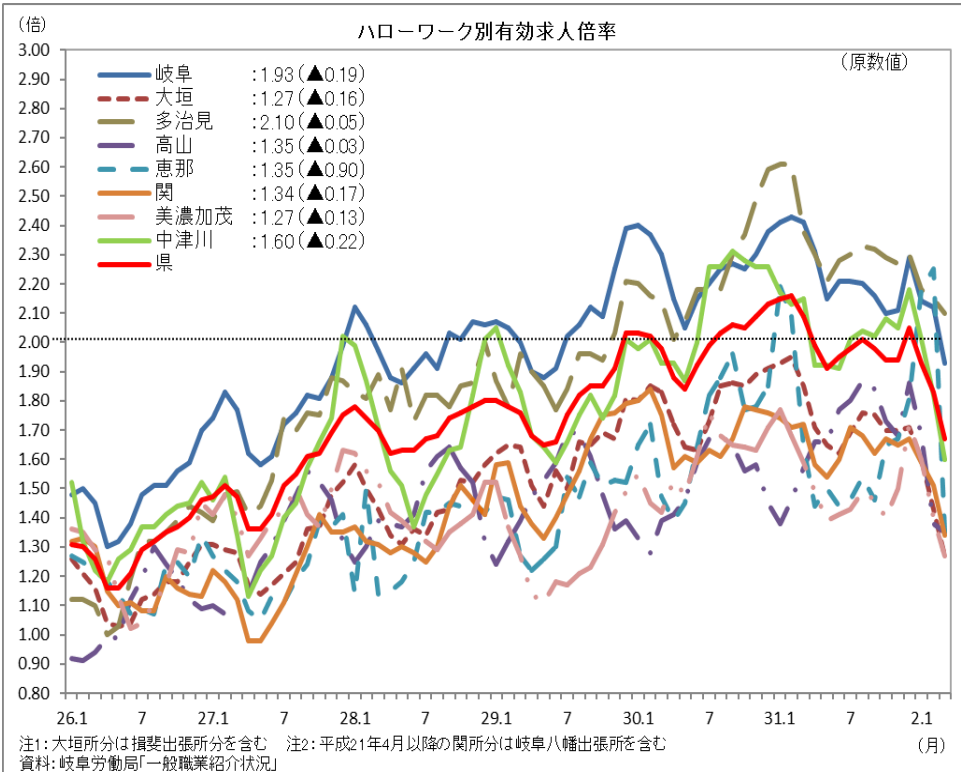
○有効求人倍率は、建設・採掘で7.9倍、介護関連で4.3倍、販売職で3.6倍、サービス職で3.3倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.6倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○3月の主要産業新規求人数は、電気機械で前年同月比▲51.1%、生産用機械で同▲43.8%、金属製品で同▲34.3%など、全ての産業で減少した。



# 雇用(地域別)



○3月のハローワーク別有効求人倍率は、全ての地域で前月比で低下した。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

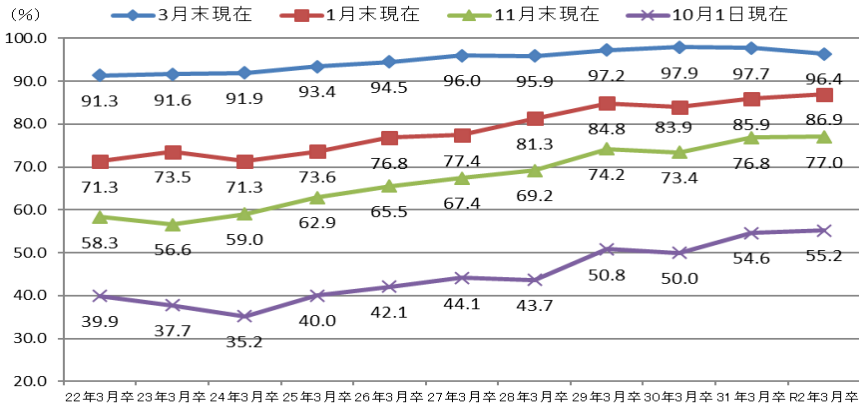
### <窓口の様子> ※前月比

- ◆岐阜以外は混雑傾向が見られた。

# 雇用(大学・短大新卒者の就職)

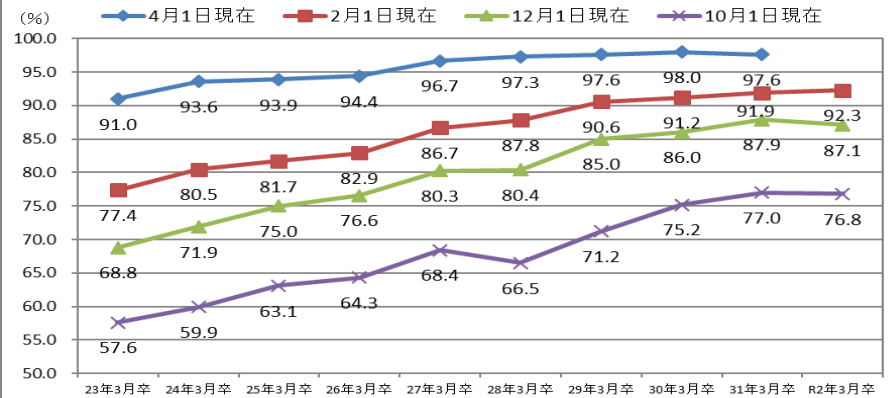
- 岐阜県の令和2年3月末時点の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)の就職内定率は、96.4%であり、前年同時点と比べ▲1.3ポイント低下した。
- 全国の令和2年2月1日現在の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)内定率は92.3%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大等)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大等)の就職状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

## 現場の動き(2021卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

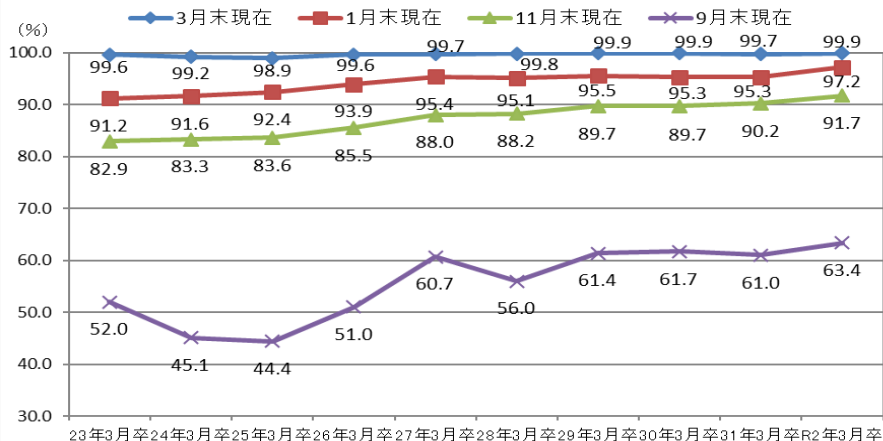
- ◆21卒は就職活動中の学生が大半であり、終了した学生は一部である。
- ◆企業からの訪問がないため、大学に情報が入ってこない。
- ◆企業の選考が止まっているため、学生の集中力やモチベーションのケアが必要。
- ◆新型コロナウイルスの影響によりWebでの選考が増えている。(以上、岐阜県内大学)
- ◆大学は当面の間、休講とし、オンラインで授業を実施してる。
- ◆現在採用活動を止めている企業から今後の採用見通しについて連絡がない、という相談が学生から多い。
- ◆複数企業を受験している場合で、上位志望の選考が止まると下位志望の内定承諾ができない、等の相談もある。
- ◆新型コロナウイルスの影響で、企業へ提出する各種証明書等の発行ができない。(以上、愛知県内大学)

# 雇用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和2年3月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は99.9%であり、前年同時点と比べ0.2ポイント上昇した。

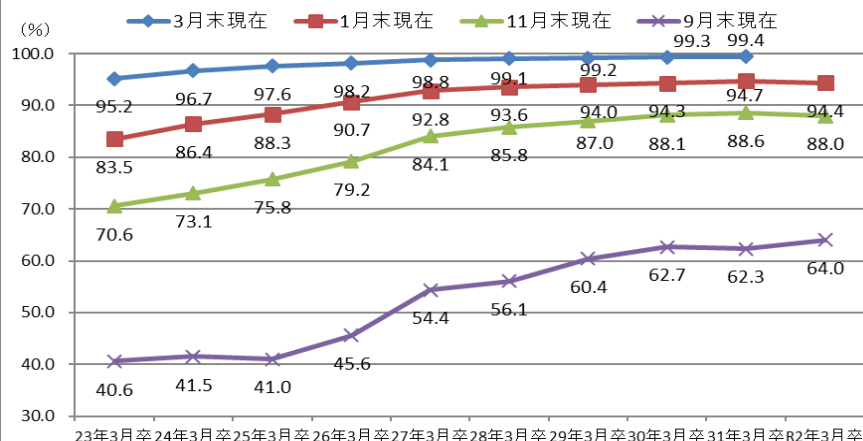
○全国の令和2年1月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は94.4%であり、前年同時点と比べ▲0.3ポイントと低下した。

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<岐阜県>



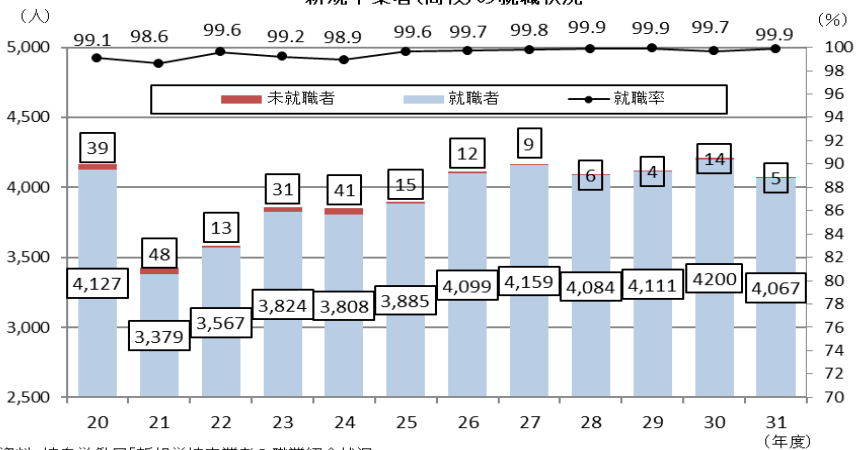
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<全国>



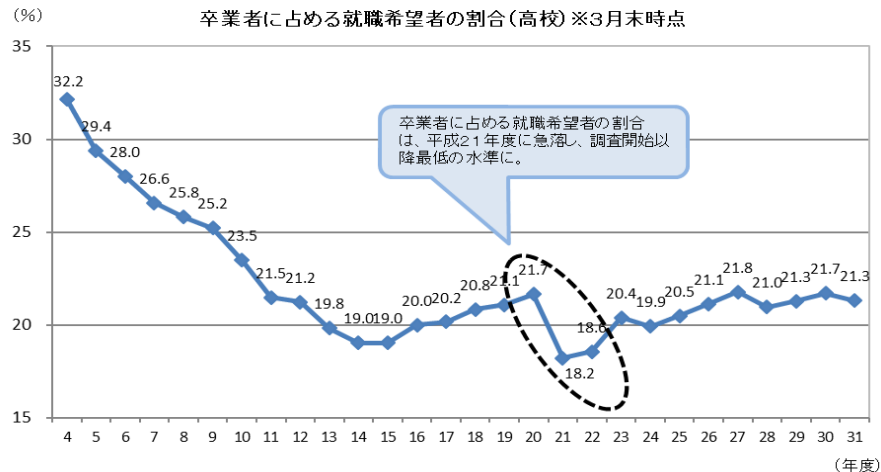
資料: 厚生労働省「高校・中学新卒者の求人・求職・内定状況(高校・中学新卒者)」

新規卒業者(高校)の就職状況



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

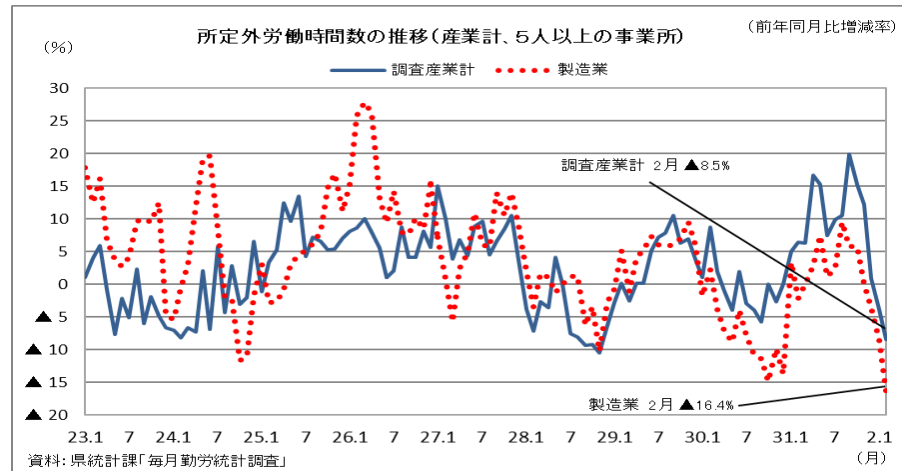
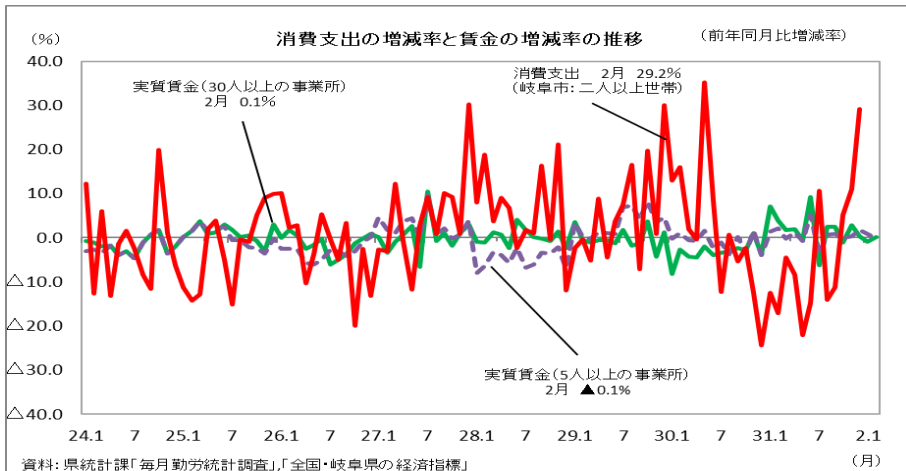
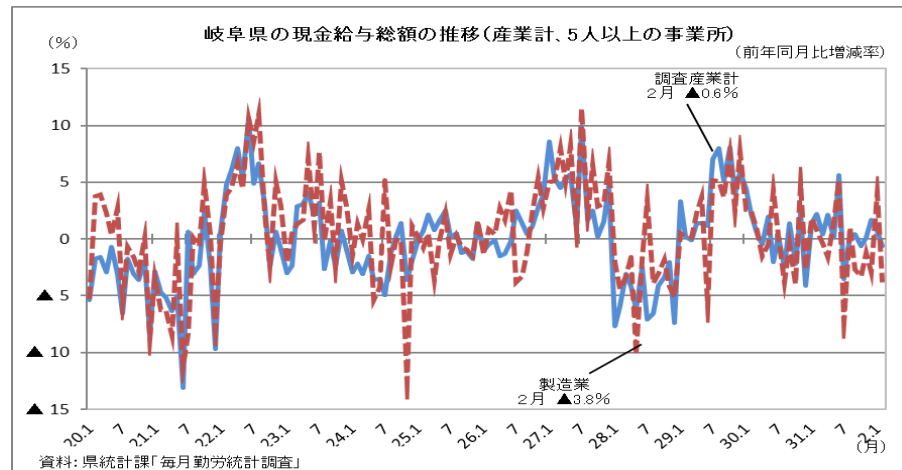
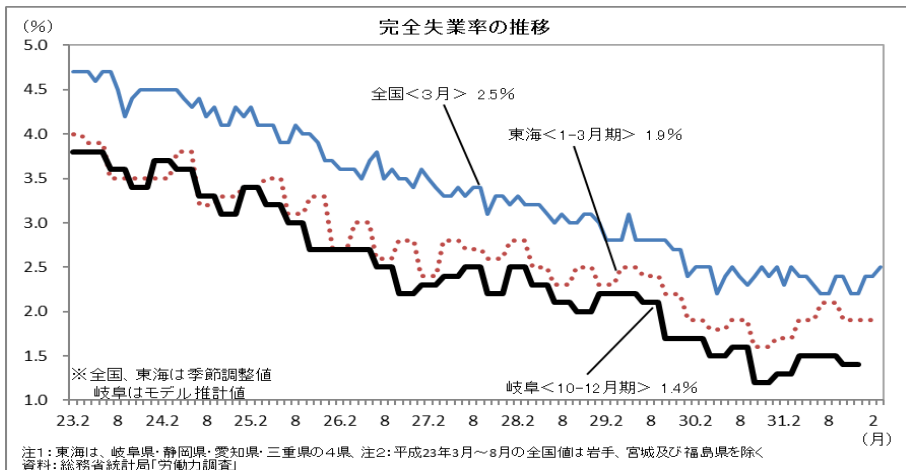
卒業者に占める就職希望者の割合(高校)※3月末時点



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の3月の完全失業率は2.5%で前月比0.1ポイント上昇。岐阜県の10-12月期の平均は1.4%で前期比▲0.1ポイントと減少。
- 2月の岐阜県現金給与総額は、全産業で前年同月比▲0.6%、製造業で同▲3.8%と、減少。
- 2月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比▲0.1%減少、30人以上の事業所は同0.1%増加。消費支出については同29.2%と3か月連続で増加した。
- 2月の所定外労働時間数は前年同月比▲8.5%と減少した。



# ＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、2月の鉱工業生産指数で、多くの産業で上昇したものの、化学工業と非鉄金属では低下した。ヒアリングにおいては、自動車関係を中心に幅広い業界で新型コロナウイルスの悪影響が出ており、先行きの不透明感を懸念する声が聞かれた。
- 地場産業は、2月の鉱工業生産指数で、家具以外で上昇した。ヒアリングにおいては、イベント等の中止や販売先の休業等が相次ぎ、市場の悪化を懸念する声が目立った。
- 設備投資は、工作機械受注額について、国内向けは16か月連続、海外向けは17か月連続で前年同月を下回った。ヒアリングにおいては、先行きの見通しが立たない状況を踏まえて設備投資計画を延期する企業も見られた。
- 個人消費は、小売店の3月の販売額については、家電大型専門店とコンビニでは前年同月比で減少したものの、全体では同比で増加した。ヒアリングにおいては、スーパーにおいて客単価の上昇が増収に寄与しているとの声があったが、外出自粛や休業要請によって売上が減少しているとの声も目立った。
- 観光は、前年と比較し、新型コロナウイルスの影響によるイベントの自粛やインバウンドの激減により観光地、宿泊施設ともに前年同月を大きく下回った。インバウンドは、政府の入国規制や国際旅客便の減少によりほとんどない状況。ヒアリングにおいては、4、5月に続き、6月も休館日を考えているとの声が上がった。
- 企業の資金繰りは、3月の制度融資実績で、件数、金額ともに前年同月比で増加した。金融機関からは業種や規模を問わず資金繰り相談が増加しているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、3月の有効求人倍率は、1.64倍と43か月ぶりに1.6倍台の水準にまで低下した。ヒアリングにおいては、生産調整等によって一部に人員の余剰感が高まっているとの声が聞かれた。